



倉幼デジタルニュース

令和7年12月10日
倉賀野幼稚園長
阿久澤 一広



来週の12月18日に、ちゅうりっぷ組では楽器遊びの保育参観を予定しています。本番を控え、今日は年中と年長の子どもたちの前で、カスタネットを使った「てをたたきましょう」とタンブリンを使った「おおがたバス」のリズム遊びと「まつぼっくり」と「どんぐりころころ」の歌の発表を行いました。大勢のお兄さん・お姉さんを前にして、ちゅうりっぷ組の子どもたちは少し緊張気味でしたが、音楽が流れ始めると一生懸命にカスタネットやタンブリンを叩いてリズムをとったり、大きな声で歌を歌ったりしていました。

午前10時、ゆり組の子どもたちが園のすぐ西の「キノコ・輪大（きのこ・ワールド）」さんの工場見学に出かけました。工場の中では、おが屑を菌床としてたくさんの舞茸が栽培されていました。「この工場の中は、常に秋の気候になっています」の説明の通り、温度と湿度が舞茸の生長に最適な環境となっていました。天井まで高く栽培されている舞茸の数の多さに、子どもたちは驚いていました。40分ほどで工場見学は終わりました。（①②③ちゅうりっぷ組の子どもたちの様子 ④⑤⑥ゆり組の子どもたちの様子）